

目標 図書館計画に基づく、R3年度の「事業計画」各項目に対する目標

取組成果と個々の評価

目標に対する取組内容と成果

“個々の評価指標

A：事業計画の目標に対し概ね達成している

B：事業計画の目標に対し一部達成している

C：事業計画の目標に対し課題がある”

基本方針1 資料の収集と保存の充実

①図書館事業の基礎である資料整備について、十分に整備できていると思います。

③期せずしてのことではありましたが、原爆関連の資料整備はタイムリーで意義が大きいと感じました。

⑤マルチメディアデイジーについて認知を広げる機会を十分に設けることができていると思います。

.....

A 配架の位置や対応により、貸出数が大きく変動することがよくわかる。限られたスペースや予算の中で、様々に工夫してハンディキャップサービスの充実と普及を図られていることを評価したい。

原爆小文庫という貴重な資料の再整備により利用拡大につながったことも評価したい。

.....

A 大活字本については、弱視者だけでなく一般の高齢者にとっても読書の選択肢となりうることから、その存在を多くの利用者に伝える努力をされたことを高く評価したい。原爆小文庫の貸出利用が増加したことは評価できる。ただ、この資料群の性格から、可能なものは電子化して市外にも広く情報発信することが望ましいのではないか。またマルチメディアデイジーについて、今後学校教育での利用も考えられることから、小中学校等と連携して児童生徒への理解をさらに促進していただきたい。

.....

A 利用者の要望を踏まえたコレクション構築に今後も努めてください。

また、「平和」が世界的に注目される中、貴重な資料を含む原爆小文庫の周知を進め、一層の利用の拡大につなげることが望まれます。

.....

A 児童向け大活字本はハンディキャップ資料として機械的に扱うのではなく、児童の利用がしやすい場に置く必要があるのではないか。青い鳥文庫のような小サイズの本が扱いにくい子どもには大型本(大人向けの大型本より薄くて軽い)で読みたい子どももいると考える。どのような人が利用しているのか、調べて設置箇所を検討してはどうか。本を廃棄する

については絶版のものは状態があまりよくなくても資料として見られるような保存を考えていただきたい。予約の多くつくものに複本を用意されたのはありがたいが、NF や図鑑類の購入も広く検討していただきたい。

.....

A マルチメディアデジタイズや他のハンディキャップサービス資料について周知が不十分であった学校に紹介するなど努力しているから

.....

A 館を超えた排架の工夫(判断)は評価します。今後も所蔵資料の有効活用に期待します。資料の収集も最大限(資料費の確保―増額―)の努力をお願いします。

- ① 資料の保存(除籍・廃棄・更新)とも深く関わります。当市の書架規模の現状を考えると除籍・廃棄の判断(措置)は分かりませんが、手段を!
- ② 相互協力(貸借)制度の活用もさることながら、新しい施設(新中央館)構想はさておき、せめて保存書庫の確保を!

基本方針 2 すべての市民に活用されるために

- ① 宅配サービスを滞りなく遂行できていると思うので、これからも継続してもらいたい。
- ② 積極的な情報提供により、幅広い市民が図書館サービスを活用できるよう工夫できていると感じます。
- ⑥ 様々な事象について知る機会を設けている点が素晴らしいと思います。
- ⑦ 原爆関連の資料へのアクセスを高めることで、次の世代に伝えていくきっかけを作ることができていると思います。
- ⑧ アンケートをふまえ、市民の声をどのように反映したかを分かりやすく示せると、より市民の関心が高まると思います。

.....

A 宅配サービスの充実に向け、着実に成果を上げる取り組みが行われている。他部署と連携した取り組みも、素晴らしい。

多文化サービスのアイデアと取り組みは非常に興味深く、より多くの人に参加できるよう工夫してほしい。多言語お話し会への外国人親子の参加者数増は視野に入れつつも、ホスト社会の多様性理解促進は受け入れ社会の寛容度を上げるので、今後も重要な取り組みとして続けてほしい。

.....

A 多文化講座として、アラビア書道体験ワークショップなど意欲的な企画に取り組みされたことを高く評価したい。データベースについては、関連講座の企画や活用方法の動画配信など、利用促進を意図した試みを大いに評価したい。自分史講座については、高齢化する利

用者の「回想法」につなげて広報することも考えられる。原爆小文庫については、原子爆弾開発者に関する映画（「オッペンハイマー」）が令和5年度末に日本でも公開され、また令和6年度のノーベル平和賞に日本被団協が選ばれたことなど、国内外で核兵器（廃絶）に関する話題が続いている。また認知症やフレイルに関する展示などは、超高齢社会の進展により今後もさらに重要となる。これらについては今後もタイムリーな形で関連する広報に努めていただきたい。

.....

A ハンディキャップサービスや多文化理解サービスなどで、多様な取組が行われたことを評価できます。多文化理解への取組では特に日本語を母語としない方たちへの積極的なアプローチが今後も継続されていくことを望みます。

図書館アンケートではホームページの充実が望まれているようです。どこに課題があるのかを分析し、利用者が望む情報を効率的に入手できるような改訂を行うなど、さらなる取組を期待します。

.....

A 多言語おはなし会は地元の親子の多文化への興味を引く役にはたっていると思うが、ネイティブの方と地元の親子がつながるきっかけにはなかなかなりにくいのかも。もう一歩、進むとよいと思うが…。

.....

A 懇談会を実施したことで、普段滞りなくできている活動のなかにおける小さな疑問などを解消し、次年度以降のサービスの維持のつなげられる場とすることができたから。

.....

A 図書館サービスは無限とはいわないまでも多様です。市民の期待に応えるためのサービスの発想・企画は楽しいに違いありません。そして実施も。もちろん、苦勞、困難もあるかと思いますが、精一杯知恵を出してがんばっているのでは・・・

基本方針 3 西東京市の文化・歴史を次世代に継承する

① 西東京市に関する行政資料へのアクセスを担保できておりよいと思います。

.....

A 地域行政資料は、西東京市の図書館固有の資料なので、それが整備され利用しやすくなったことを評価したい。

地域固有情報である「縁の方の紹介情報」が最新になったことも良いことだと思う。

.....

A 図書館ホームページで「西東京市縁（ゆかり）の方の紹介」の情報を更新していることを評価したい。また、この「縁」関連の冊子体資料については、館内でもう少し分かりやすい（目立つような）展示や配架を工夫できるのではないかな。

.....

A 地域・行政資料コーナーの利用のしやすさに向けた改善が行われたことを評価します。今後ともさらなる地域情報の保存・充実により、地域の情報ハブとしての役割を担っていくことが望まれます。

.....

A 縁の方の選定基準？…渡辺茂男さんが保谷から転居して多摩へいらしたと多摩の図書館の展示で知って、これは知らなかったと思いました。どこまで広げるか、むずかしいと思いますが、地元にもっと親しみを持てるきっかけとして切り口を広げてよいのでは？

.....

A 利用しやすいコーナーづくりや、最新の情報にアクセスしやすい環境を整えることができたから。

.....

A 1) 西東京市図書館は西東京市の情報（あえて歴史・文化に特化して）を責任をもって公開する責務があると考えます。

2) 施設（書架）については問わないとしても、さらなる構築に期待します。

3) 「基 2」「基 4」「基 5」とも関わりますが、かつて人材バンクとして図書館の機能の拡充と育成の提案をしました。ぜひ、この提案が活かされるようお願いします。

→新年度の事業計画に活かされることを！

→特に、社会教育課（郷土資料室）との連携は必須です。

基本方針 4 未来を担う子どもの読書活動の支援

①電子図書館の利用状況をふまえ、限られた予算のなかでどのような工夫をしていくか、市民のニーズもふまえて具体的な検討が進むとよりよいと思います。

②乳幼児との接点を積極的に創出しており、素晴らしい取り組みだと思います。

③子どもと図書館の最初の接点創出として素晴らしい取り組みだと思います。

⑦情報収集の能力がより必要となる世の中にあって、必要な取り組みができていると思います。

.....

A 乳幼児から YA 世代まで、それぞれに読書と親しむ機会を提供する取り組みが広く行われていることはすばらしいと思う。ブックスタート事業も、課題を解決すべく、毎年改善策が講じられており、未だ試行錯誤段階のようだが今後を期待したい。

.....

A 「子ども電子図書館サービス」を読書のきっかけにしようとする取り組みは、高く評価できるし今後も重点的に進めていただきたい。「電子図書館 de ビブリオトーク」など、学校司書と連携する事業も、意義のあることなので評価するし、引き続き力を入れていただきたい。調べ案内（パスファインダー）を作成し、電子図書館に掲載したことは大いに評価で

きる。今後 YA 向けワークショップで、自分達自身でのパスファインダーの作成などを取り上げてはどうだろうか。またその過程で、「調べる学習コンクール」への参加につなげることもできるのではないだろうか。

.....

A 図書館外の活動により、多くの子どもたちの読書活動への支援が高められたことを高く評価します。

今後も子どもたちが参加しやすい効果的な拠点を選んだ活動の拡大が期待されます。

また、子ども電子図書館サービスはサービスの定着に向けて継続的な利用が行われるような工夫とともに紙媒体の利用とのバランスもとり、総合的な読書活動向上に資するような活動が行われることを望みます。

.....

A 電子図書館を読書への入口として、また、調べ学習のツールとして活用することは意味があると思うが、一方で本がたくさんあるところこそ見える本の広がりや魅力、手に取ってみることを常に意識して働きかけをしていただきたい。電子図書館があるから読書環境は安心というような感覚を大人が持ったら子どもの不読率は上がる一方でしょう。「おでかけおはなし会」の行き先や開催時期については十分な検討をしていただきたい。秋には市内の各地で様々なイベントが開かれる。「青空おはなし会」など検討してはいかが？お出かけ先では図書館のおはなし会情報の配布もぜひ。ブックスタートが健診会場で再開されること、大事だと思います。この事業の再スタート時、ボランティアには事前の変更点などの連絡が不十分だったと聞いた。どの事業についても、ボランティアなど市民と協働する際は、相互の情報共有や意見交換を密にしていきたい。

.....

A 子どもの読書環境の充実と子ども読書活動支援を行うことができたから。

.....

A 1) 精一杯の取組に敬意を表します。

2) 「基 3」3) の提案が活かされることを！

→とくに、小・中・高校生を取り込んでの事業計画を！

.....

基本方針 5 地域、行政と連携した図書館サービスの向上

①大学と行政の架け橋として、協力関係を継続的に構築できていることを評価したいと思います。

③児童と図書館の接点創出として機能している事業だと思います。

.....

A 大学との協力が進むことは大学生、地域の子どもや YA 世代、双方の成長につながると思うので、今後も進めてほしい。

「まちなか先生」は図書館関係がよく利用されているようで現場の負担になっているのではないかと心配である。しかし、図書館と子ども達をつなぐ機会として図書館のミッションに合致しているため、今後も多くの利用があることを期待したい。

.....

A 武蔵野大学との連携事業を積極的に進めていることは、大いに評価できる。「まちなか先生」事業を広範囲に展開していることも評価するが、そのプログラムが各学校の教員に広く周知されているだろうか。もし広報が不十分ならば、その連携方法をさらに工夫して欲しい。音訳ボランティアの技術向上のための専門研修などの企画も、大変有意義だったと思う。

.....

A 武蔵野大学との連携事業では学生ボランティア参加事業が加わる等、積極的な取組が行われたことを評価します。

音訳技術の向上は継続的な研修が必要ですので、今後も計画的に進めていってください。

.....

A 「子ども読書活動推進計画」の中間報告を後半に活かしていただきたい。市民との協働について、学校内の保護者の読み聞かせ活動支援など、図書館が関われる分野はまだあるのでは？

.....

A 地域に根ざした図書館として、市内の大学や小中学校、市民や団体と連携し、図書館事業の拡充を進めること

ができたから。

.....

- A 1) さまざまな取組みに脱帽です。
2) 「基3」3) の提案が活かされることを！

.....

基本方針 6 効率的・効果的な運営体制の構築

①限られたリソースのなかで知識や技術の向上を図ることができていると思います。

②開館時間の延長により市民の利便性が向上していると思います。効果次第では中央図書館のほかにも広げていく余地を検討してもらえればと思います。

⑥安全な図書館運営の基礎として十分な対策ができていると思います。

.....

A 人の配置を調整して開館時間を早めたり、職員を外部研修に送りだしたり、工夫をしながら運営体制の改善に努力されている。令和6年から5年間の図書館計画に新図書館構想を示されたことは大きな成果だと思う。今後は、その周知に取り組み、実現を目指してほしい。

.....

A 中央図書館の開館時間を拡大し、利便性を向上できたことは大いに評価できる。専門研修への職員派遣はなかなか難しい現状があると思うが、研修動画視聴などの工夫ができたことは良かったのではないかと。次期図書館計画策定を行ったことは、今後の西東京市図書館構想を描くうえで大変重要なことである。しかしその構想を市民に広く周知するためには、今後さらに積極的な広報活動を行うことが必要になるだろうと思われる。

.....

A 今後の方向性をまとめた図書館計画が策定されたことを評価します。次年度以降、新しい計画による図書館運営が着実になされていくことを期待します

職員の研修では館内での研修動画作成によるスキルアップが図られたことは大変良いことだと評価します。利用者へのサービス向上のためにも知識の共有は必要なことなので、より多くの職員が参加できる研修を積極的に進めていくことが望まれます

.....

A 民間の児童書関連の研究会や東京こども図書館の開催する研修などに参加する職員がいた場合、補助をつけるなど、より広い視野に立った研修を系統的に受けられるような仕組みを検討していただきたい。正規職員の司書配置、直営図書館ならではの長期的視点と当市の市民に信頼される図書館運営を今後も責任を持って続けていただきたい。

.....

A 市民に将来的な図書館のあるべき姿の方向性を周知できたから。

.....

A 1) 新年度の職員（司書）の採用計画を評価します。今後ともこの理念を堅持してください。

2) 研修のさらなる機会の保障を。専門職員だけでなく、すべての職員を含めて・・・。

3) 研修を介して、職員間の信頼関係（集団の中で自己実現できる環境）の構築が図書館の組織として機能します。

→市民に信頼される図書館の要件ともいえるのでは。さらにいえば。「市民一人ひとりの中に図書館があるという発想に繋がればと。

.....